



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成30年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 八千代工業株式会社
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 北村 哲也 (TEL) 04-2955-1211
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日 配当支払開始予定日 平成30年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	79,831	1.1	△414	—	△504	—	△1,191	—	△2,567	—	△518	—
30年3月期第2四半期	78,960	—	5,291	—	5,231	—	4,046	575.3	2,952	—	5,155	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△106.90	—
30年3月期第2四半期	122.92	—

平成31年3月期第1四半期に完成車事業を譲渡したため、当該事業譲渡による利益を非継続事業へ分類しております。これにより、営業利益及び税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。なお、平成30年3月期第2四半期についても、売上収益、営業利益及び税引前利益を組み替えて表示しているため、対前期増減率は表示しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	118,425	69,670	56,512	47.7
30年3月期	131,278	71,859	59,008	44.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
31年3月期	—	8.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	161,000	△2.8	1,300	△86.1	1,200	△87.0	△1,400	—	△3,900	—	△162.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有

新規 一社（社名） —

除外 1社（社名） ヤチヨ インダストリー（ユーケー）リミテッド

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年3月期2Q	24,042,700株	30年3月期	24,042,700株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期2Q	29,280株	30年3月期	29,280株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期2Q	24,013,420株	30年3月期2Q	24,013,452株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想は、平成30年3月期決算短信（平成30年5月8日）における業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日公表の「2019年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
第2四半期連結会計期間	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2018年4月2日に完成車事業を本田技研工業株式会社に譲渡いたしました。これにより、当該事業譲渡に伴う利益を非継続事業へ分類しております。また、前年同期実績における売上収益、営業利益、税引前四半期利益につきましても同様に修正しております。

当第2四半期連結累計期間の売上収益は、中国及び米州における受注の減少やメキシコで発生した水害による主要顧客の生産休止影響、他地域の生産変化に伴う受注の減少などはあったものの、日本及びアジアにおける受注の増加などにより、798億3千1百万円と前年同期に比べ8億7千1百万円、1.1%の増収となりました。利益につきましては、原価改善効果などはあったものの、米州におけるユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド（米国）において、生産安定化対応の継続にかかる追加費用及び顧客への確実な製品供給のために他拠点からの製品補完費用を計上したことに加え、一部の燃料タンクの不具合によるリコール関連費用を計上したことなどにより、営業損失は、4億1千4百万円と前年同期に比べ57億5百万円の減益となりました。税引前四半期損失は、5億4百万円と前年同期に比べ57億3千5百万円の減益、親会社の所有者に帰属する四半期損失は、25億6千7百万円と前年同期に比べ55億1千9百万円の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、自動車部品の受注の増加などにより、売上収益は、141億2千7百万円と前年同期に比べ19億4千6百万円、16.0%の増収となりました。税引前四半期損失は、受注の増加や原価改善効果などにより、7億9千9百万円と前年同期に比べ5億7千7百万円の改善となりました。

(米州)

米州においては、連結子会社であるヤチヨ メキシコ マニュファクチュアリング エス エー デ シー ブイ（メキシコ）において主要顧客の水害による生産休止影響に伴う大幅な受注の減少や、エー ワイ マニュファクチュアリング リミテッド（米国）における受注の減少及び為替換算上の影響などにより、売上収益は、191億4千1百万円と前年同期に比べ15億7千7百万円、7.6%の減収となりました。

税引前四半期損失は、ヤチヨ メキシコ マニュファクチュアリング エス エー デ シー ブイ（メキシコ）における受注の減少に加え、ユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド（米国）において老朽化した設備での高負荷生産による設備トラブルが発生しており、その対応として日本からの支援も含め生産安定化に向けた取り組みを推進しておりますが、現地従業員の採用遅れや、生産設備の老朽化が想定以上に進んでいたことなどから、生産安定化に向けた対応が長期化しており、労務費、材料費等の歩留まりロス及び修繕費が増加しました。また、生産安定化対応の継続にかかる追加費用及び顧客への確実な製品供給のために他拠点からの製品補完費用を計上したことや、一部の燃料タンクの不具合によるリコール関連費用を計上したことなどにより、47億7千4百万円と前年同期に比べ52億8千5百万円の大幅な減益となりました。

ユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド（米国）の生産安定化については、設備保全及び新規設備導入を着実に推進し、生産体質の強化を全社一丸となり進めてまいります。

(中国)

中国においては、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）及び八千代工業（武漢）有限公司（中国）における受注の減少により、売上収益は、164億4千1百万円と前年同期に比べ6億7千4百万円、3.9%の減収となりました。税引前四半期利益は、受注の減少や機種構成差及び新機種立上りに伴う開発費負担の増加などにより、16億9千9百万円と前年同期に比べ10億8千6百万円、39.0%の減益となりました。

(アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるゴウシ タンロン オートパーツ カンパニー リミテッド（ベトナム）における受注の増加により、売上収益は、301億2千1百万円と前年同期に比べ11億7千6百万円、4.1%の増収となりました。税引前四半期利益は、受注の増加や為替換算上の影響などはあったものの、機種構成変化などにより、32億5千9百万円と前年同期に比べ1億7千2百万円、5.0%の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,184億2千5百万円と前年度に比べ128億5千2百万円の減少となりました。減少した要因は、売却目的で保有する資産や営業債権及びその他の債権が減少したことなどによるものであります。

負債合計は、487億5千5百万円と前年度に比べ106億6千3百万円の減少となりました。減少した要因は、その他の流動負債の増加はあったものの、営業債務及びその他の債務や借入金が増加したことなどによるものであります。

資本合計は、696億7千万円と前年度に比べ21億8千9百万円の減少となりました。減少した要因は、利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税引前四半期損失5億4百万円、有形固定資産の取得による支出45億7千2百万円、短期借入金の純減額39億8千6百万円及び長期借入金の返済による支出16億9千1百万円などはあったものの、減価償却費及び償却費34億1千6百万円、事業譲渡による収入67億4千5百万円などにより、当第2四半期連結会計期間末における資金残高は207億7千1百万円となり、前年度に比べ17億6千1百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、減価償却費及び償却費34億1千6百万円、営業債権及びその他の債権の減少額75億4千1百万円などはあったものの、税引前四半期損失5億4百万円、営業債務及びその他の債務の減少額41億5千2百万円などにより、前年同期に比べ32億4千万円減少し、73億2千8百万円（前年同期は105億6千8百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、有形固定資産の取得による支出45億7千2百万円などはあったものの、事業譲渡による収入67億4千5百万円などにより、前年同期に比べ53億6千3百万円増加し、15億3千6百万円（前年同期は38億2千7百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、短期借入金の純減額39億8千6百万円、長期借入金の返済による支出16億9千1百万円、配当金の支払額16億7千万円などにより、前年同期に比べ2億2千5百万円増加し、74億7百万円（前年同期は71億8千2百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の売上収益につきましては、上期における減収影響などにより、前回予想を下回ることとなりました。

利益につきましては、上期における減益や下期においてもユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド（米国）の生産安定化に向けた費用を見込んだことなどから、通期業績予想を下記のとおりとしております。

<連結業績の見通し>

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
今回修正予想	161,000	1,300	1,200	△1,400	△3,900
前期実績(2018年3月期)	165,562	9,369	9,223	7,555	4,796
増減率(%)	△2.8	△86.1	△87.0	—	—

なお、詳細につきましては、本日公表の「2019年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	18,929	20,771
営業債権及びその他の債権	36,213	27,959
その他の金融資産	1,634	2,951
棚卸資産	9,398	9,346
その他の流動資産	1,048	1,744
小計	67,222	62,771
売却目的で保有する資産	9,236	—
流動資産合計	76,458	62,771
非流動資産		
有形固定資産	43,910	45,532
無形資産及びのれん	5,435	5,164
その他の金融資産	1,881	1,662
繰延税金資産	2,096	1,814
退職給付に係る資産	1,359	1,131
その他の非流動資産	139	352
非流動資産合計	54,820	55,654
資産合計	131,278	118,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	24,685	20,356
借入金	11,516	7,390
その他の金融負債	91	316
未払法人所得税	1,531	1,067
引当金	—	1,028
その他の流動負債	4,451	6,929
小計	42,274	37,086
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	3,412	—
流動負債合計	45,687	37,086
非流動負債		
借入金	3,208	1,808
その他の金融負債	152	156
退職給付に係る負債	5,138	5,243
繰延税金負債	4,898	4,153
その他の非流動負債	336	308
非流動負債合計	13,731	11,669
負債合計	59,418	48,755
資本		
資本金	3,686	3,686
資本剰余金	3,488	3,488
利益剰余金	49,969	47,017
自己株式	△25	△25
その他の資本の構成要素	1,891	2,346
親会社の所有者に帰属する持分合計	59,008	56,512
非支配持分	12,851	13,158
資本合計	71,859	69,670
負債及び資本合計	131,278	118,425

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
継続事業		
売上収益	78,960	79,831
売上原価	△66,384	△72,139
売上総利益	12,576	7,691
販売費及び一般管理費	△5,376	△5,918
研究開発費	△2,037	△2,249
その他の収益	200	148
その他の費用	△73	△86
営業利益(損失)	5,291	△414
金融収益	140	169
金融費用	△200	△259
税引前四半期利益(損失)	5,231	△504
法人所得税費用	△2,388	△1,507
継続事業からの四半期利益(損失)	2,843	△2,011
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	1,202	820
四半期利益(損失)	4,046	△1,191
四半期利益(損失)の帰属		
親会社の所有者	2,952	△2,567
非支配持分	1,094	1,376
1株当たり四半期利益(損失)		
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)		
継続事業	72.86	△141.04
非継続事業	50.06	34.14
基本的1株当たり四半期利益(損失)合計	122.92	△106.90

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益(損失)	4,046	△1,191
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	△98	△113
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△98	△113
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,208	786
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	1,208	786
その他の包括利益合計	1,110	673
四半期包括利益	5,155	△518
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,921	△2,112
非支配持分	1,234	1,594

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
継続事業		
売上収益	40,699	38,854
売上原価	△34,219	△37,159
売上総利益	6,479	1,695
販売費及び一般管理費	△2,611	△2,922
研究開発費	△1,052	△1,006
その他の収益	115	59
その他の費用	△34	△61
営業利益(損失)	2,897	△2,234
金融収益	60	70
金融費用	△54	△228
税引前四半期利益(損失)	2,904	△2,392
法人所得税費用	△1,311	△608
継続事業からの四半期利益(損失)	1,593	△3,000
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	423	—
四半期利益(損失)	2,016	△3,000
四半期利益(損失)の帰属		
親会社の所有者	1,475	△3,587
非支配持分	541	587
1株当たり四半期利益(損失)		
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)		
継続事業	43.81	△149.39
非継続事業	17.61	—
基本的1株当たり四半期利益(損失)合計	61.43	△149.39

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益(損失)	2,016	△3,000
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動	104	68
純損益に振り替えられることのない項目 合計	104	68
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,024	845
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	1,024	845
その他の包括利益合計	1,128	913
四半期包括利益	3,144	△2,087
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,457	△2,960
非支配持分	687	873

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2017年4月1日残高	3,686	3,488	46,011	△25
四半期包括利益				
四半期利益(損失)			2,952	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	2,952	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△336	
所有者との取引等合計	—	—	△336	—
2017年9月30日残高	3,686	3,488	48,626	△25
2018年4月1日残高	3,686	3,488	49,969	△25
四半期包括利益				
四半期利益(損失)			△2,567	
その他の包括利益				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動				
在外営業活動体の換算差額				
四半期包括利益合計	—	—	△2,567	—
所有者との取引等				
剰余金の配当			△384	
所有者との取引等合計	—	—	△384	—
2018年9月30日残高	3,686	3,488	47,017	△25

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計			
2017年4月1日残高	600	1,716	2,316	55,475	11,147	66,622
四半期包括利益						
四半期利益(損失)				2,952	1,094	4,046
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△98		△98	△98		△98
在外営業活動体の換算差額		1,068	1,068	1,068	140	1,208
四半期包括利益合計	△98	1,068	970	3,921	1,234	5,155
所有者との取引等						
剰余金の配当				△336	△890	△1,226
所有者との取引等合計	—	—	—	△336	△890	△1,226
2017年9月30日残高	502	2,784	3,285	59,060	11,491	70,551
2018年4月1日残高	596	1,295	1,891	59,008	12,851	71,859
四半期包括利益						
四半期利益(損失)				△2,567	1,376	△1,191
その他の包括利益						
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△113		△113	△113		△113
在外営業活動体の換算差額		568	568	568	218	786
四半期包括利益合計	△113	568	455	△2,112	1,594	△518
所有者との取引等						
剰余金の配当				△384	△1,286	△1,670
所有者との取引等合計	—	—	—	△384	△1,286	△1,670
2018年9月30日残高	483	1,863	2,346	56,512	13,158	69,670

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(損失)	5,231	△504
非継続事業からの税引前利益	1,197	820
減価償却費及び償却費	3,569	3,416
金融収益	△140	△169
金融費用	200	259
子会社株式売却益	—	△845
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	641	7,541
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,670	238
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△358	△4,152
引当金の増減額(△は減少)	—	1,028
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	103
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	62	0
その他(純額)	487	1,785
小計	12,559	9,520
利息及び配当金受取額	147	169
利息の支払額	△74	△53
法人所得税の支払額又は還付額	△2,064	△2,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,568	7,328
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,833	△4,572
有形固定資産の売却による収入	70	14
無形資産の取得による支出	△702	△420
定期預金の預入又は払戻(純額)	636	△227
事業譲渡による収入	—	6,745
その他(純額)	2	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,827	1,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,078	△3,986
長期借入金の返済による支出	△1,836	△1,691
親会社の所有者への配当金の支払額	△336	△384
非支配持分への配当金の支払額	△890	△1,286
その他(純額)	△42	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,182	△7,407
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△441	1,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	460	304
現金及び現金同等物の期首残高	16,693	19,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,711	20,771

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」（以下「IFRS第15号」という。）を適用しております。IFRS第15号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

IFRS第15号の適用により、当社グループでは、以下の5ステップアプローチに基づき、顧客に対する財又はサービスの支配の移転により、収益を認識しております。

ステップ1：顧客との契約を識別する

ステップ2：契約における履行義務を識別する

ステップ3：取引価格を算定する

ステップ4：取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5：企業が履行義務の充足時に（又は充足するにつれて）収益を認識する

当社グループは、自動車部品の製造・販売を行っており、通常は、顧客に製品を引渡した時点において、顧客が当該製品に対する支配を獲得することにより、当社グループの履行義務が充足され、上記収益認識の要件を満たします。また、収益は、返品、リベート及び割引額を差し引いた純額で測定しております。

なお、従前の会計基準を適用した場合と比較して要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

当社グループは、上記基準書以外に、当連結会計年度より以下の基準書をそれぞれの経過措置に準拠して適用しております。以下の基準書の適用が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書	基準名	概要
IFRS第9号	金融商品 (2014年7月改訂)	金融資産及び金融負債の分類及び測定方法の改訂 金融資産の減損モデルの改訂

(セグメント情報等)

(1) 非継続事業についての報告セグメントの概要

当社は、2017年12月18日開催の取締役会において、当社が100%を出資する八千代工業四日市製作所株式会社（以下「四日市製作所」という。）を設立し、当社の完成車事業を吸収分割により四日市製作所に承継させた上で、当社が保有する四日市製作所の全株式を本田技研工業株式会社へ譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。これを受け、当社は2018年4月2日に保有する四日市製作所の全株式を譲渡いたしました。これに伴い同事業を非継続事業に分類し、セグメント情報から除いております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	12,181	20,719	17,115	28,945	—	78,960	—	78,960
セグメント間の内部売上収益	4,647	129	776	512	71	6,135	△6,135	—
合計	16,828	20,848	17,890	29,457	71	85,095	△6,135	78,960
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△1,376	512	2,785	3,431	3	5,354	△123	5,231

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	14,127	19,141	16,441	30,121	—	79,831	—	79,831
セグメント間の内部売上収益	5,110	41	787	549	58	6,545	△6,545	—
合計	19,237	19,183	17,228	30,670	58	86,376	△6,545	79,831
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△799	△4,774	1,699	3,259	3	△612	108	△504

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
 - (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。
- 2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結会計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	6,044	10,171	9,872	14,613	—	40,699	—	40,699
セグメント間の内部売上収益	2,228	95	342	226	33	2,923	△2,923	—
合計	8,271	10,266	10,213	14,839	33	43,622	△2,923	40,699
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△546	△175	1,872	1,756	1	2,908	△5	2,904

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
- (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上収益								
外部顧客への売上収益	7,285	8,668	7,823	15,078	—	38,854	—	38,854
セグメント間の内部売上収益	2,465	21	472	245	29	3,232	△3,232	—
合計	9,750	8,689	8,295	15,323	29	42,086	△3,232	38,854
セグメント利益 (税引前四半期利益又は損失)	△284	△4,320	768	1,460	1	△2,374	△18	△2,392

(注) 1 「調整額」の内容は、次のとおりであります。

- (1) 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。
- (2) セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。